

**プロはこう読む** 商品 銅先物は当面4300～4600ドル

2016/2/9付 | 日本経済新聞 夕刊

アイアールユニバース社長 棚町裕次氏

ロンドン金属取引所(LME)の銅地金3カ月先物価格は当面、1トン4300～4600ドルで推移するだろう。

鉱山会社の鉱石採掘の採算ラインは1トン4300ドル前後とされ、この水準を下回るとファンド勢の買いが入っている。ただ5000ドルを超えるほどの力強さはない。

最大の消費国、中国では原料銅需要が停滞している。黄銅棒など銅合金向けや屋内配線用の電線など不動産向け需要が住宅在庫の積み上がりで伸び悩んでいる。春節(旧正月)休み明けの需要にも期待できないだろう。

原油安や株安が続き、非鉄金属も一時的にもう一段の下落局面がありそうだ。為替相場の動向にも注目したい。ドル安基調が続けば、ドル建てで取引される商品が割安感から買われたり、資源国通貨の上昇に伴う生産コスト上昇観測が出るなどして、価格はある程度下支えされるだろう。

**NIKKEI** Copyright © 2016 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。